

企業景況調査報告書

(令和6年4～6月期)

< 目 次 >

質問1	調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2	直面している経営上の問題点	・・・・・・・・・・	2
質問3	採用状況について	・・・・・・・・・・	3
質問4	意見等自由記載欄	・・・・・・・・・・	4
DI	集計結果・分布	・・・・・・・・・・	5
調査票様式		・・・・・・・・・・	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

T E L 0858-22-2191

F A X 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2024年4～6月）

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社

（建設業 21 社、製造業 19 社、卸売業 11 社、小売業 21 社、サービス業 22 社、その他 6 社）

調査方法

各事業所に FAX で送付し、FAX にて返信依頼。

調査時期

令和 6 年 7 月上旬～令和 6 年 7 月中旬

回収状況

85 社（回収率 85%） ※前回（1～3 月）91 社

（建設業 20 社、製造業 18 社、卸売業 9 社、小売業 16 社、サービス業 18 社、その他 4 社）

業種別の業況 DI は、今期は下降するも、来期は上昇する見通し

＜今期の状況＞（5 ページ表参照）

今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の▲6.9 から 5.0 ポイント下降し、▲11.9 となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は▲15.0（前期▲10.6）、製造業は▲22.2（前期▲31.6）、卸売業は▲22.2（前期 11.1）、小売業は 0（前期 12.5）、サービス業は 5.3（前期 0）、その他の業種は▲50.0（前期▲16.6）で、2 業種で上昇、4 業種で下降となった。

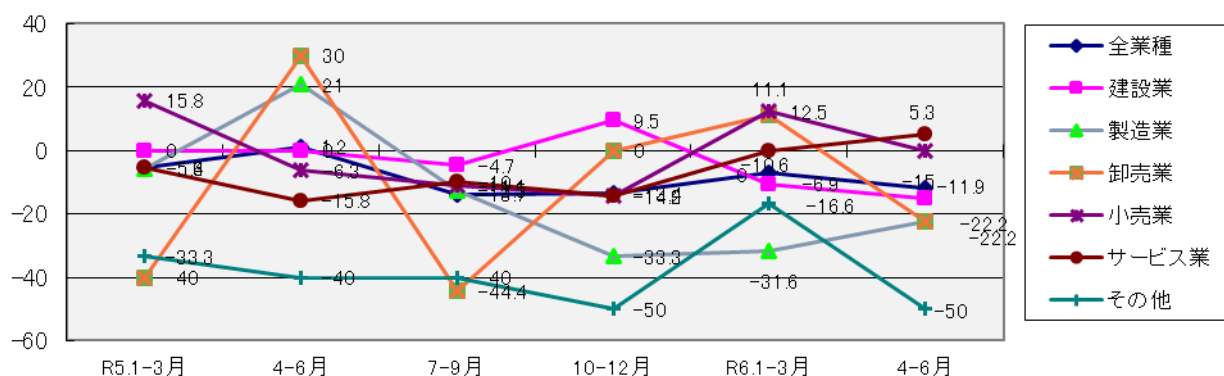
＜来期の見通し＞（5 ページ表参照）

来期の見通しでは、全業種の DI 値は前期の▲16.1 から 12.4 ポイント上昇し、▲3.7 となった。業種別に見ると建設業は 0（前期 10.5）、その他の業種▲25.0（前期 0）と 2 業種で下降する見通しとなった。一方で、製造業は 0（前期▲36.8）、卸売業は 11.1（前期 0）、小売業は▲7.7（前期▲25.0）、サービス業は▲11.1（前期▲27.8）と上昇する見込みである。

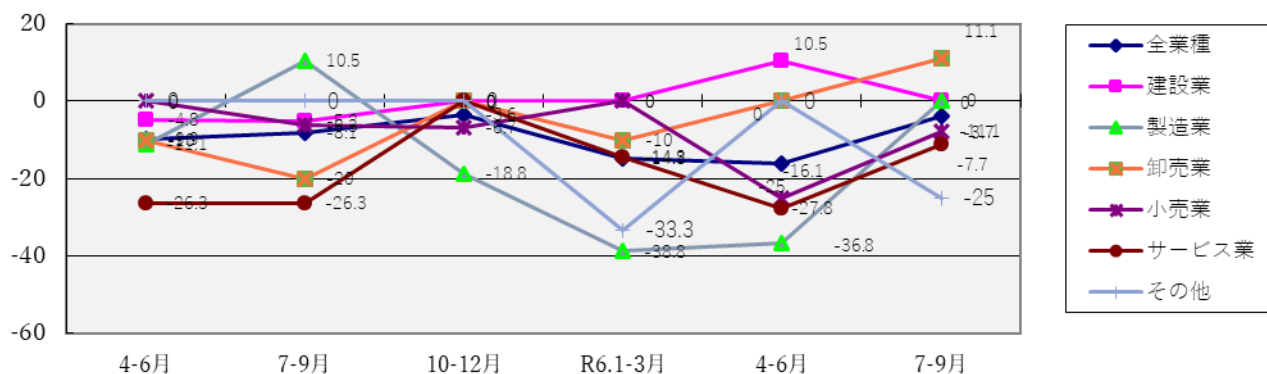
経営上における課題としては、全業種の合計で「原材料・仕入価格上昇」が前回に引き続き 1 位となった。前回 3 位の「売上・受注減少」が 2 位となり、物価高騰による消費者の買い控えが顕著に表れる結果となった。また、引き続き「人手不足」も上位に挙げられている。全業種で「経費の増加」が上位に挙げられ、物価高騰や燃料費高騰による経費負担や利益率の低下を肌で感じている事業所も多い。

＜業況判断 DI の推移＞ ※今期の DI 値集計結果については P5 をご参照下さい。

(1) 今期の状況 ＜業種別＞



(2) 来期の見通し＜業種別＞



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

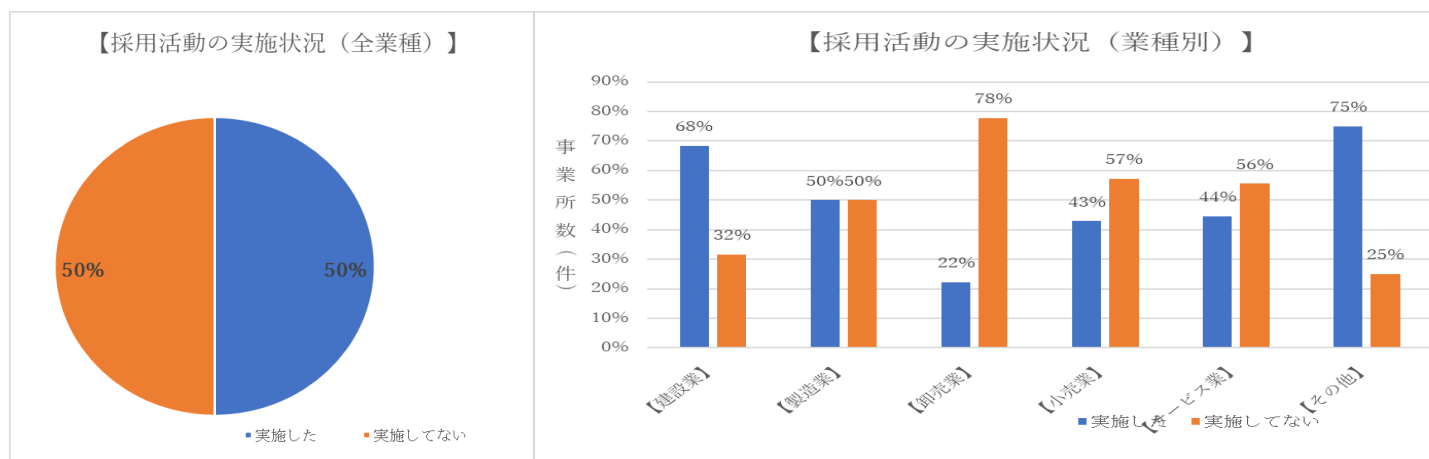
分 類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	原材料・仕入価格上昇 (41)	売上・受注減少 (36)	人手不足 (32)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (49)	人手不足 (37)	売上・受注減少 (35)
建設業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (11) 人手不足 (11)	売上・受注減少 (7) 経費の増加 (7)	利益率低下 (6)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (11)	人手不足 (10)	売上・受注減少 (9)
製造業	当 期	売上・受注減少 (13)	原材料・仕入価格上昇 (10)	人手不足 (6)
	前 期	売上・受注減少 (13)	原材料・仕入価格上昇 (9)	人手不足 (7)
卸売業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (6)	売上・受注減少 (5) 経費の増加 (5)	競争激化 (4)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (8)	競争激化 (6)	売上・受注減少 (4)
小売業	当 期	消費・需要の停滞 (7)	原材料・仕入価格上昇 (5)	売上・受注減少 (4) 経費の増加 (4) 人手不足 (4)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (10)	消費・需要の停滞 (7)	売上・受注減少 (5)
サービス業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (8)	人手不足 (7)	競争激化 (6) 経費の増加 (6)
	前 期	人手不足 (9)	原材料・仕入価格上昇 (8) 店舗・生産設備不足・老朽化 (8)	競争激化 (6)
その他	当 期	経費の増加 (3)	競争激化 (2) 売上・受注減少 (2) 人手不足 (2) 利益率低下 (2)	原材料・仕入価格上昇 (1)
	前 期	経費の増加 (5)	原材料・仕入価格上昇 (3) 人手不足 (3)	競争激化 (2) 売上・受注減少 (2) 利益率低下 (3)

17 その他

- ・酷暑対策
- ・賃上げ
- ・熟練技術者の不足

質問3 採用状況について

OJTや資格取得を中心とした従業員教育を実施している事業所が多い

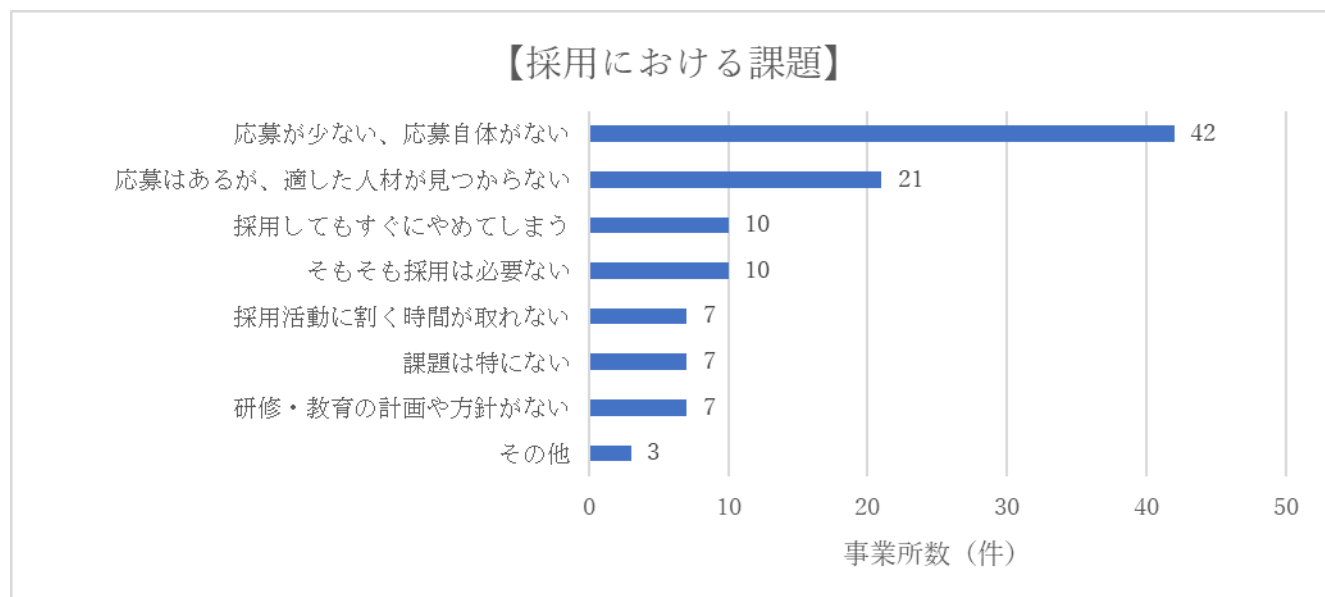


今年度の採用活動実施状況（全業種）について、「実施した」と回答した事業所と「実施していない」と回答した事業所はそれぞれ5割ずつという結果となった。

業種別では、「実施した」と回答した事業所の割合が最も多かったのは建設業で、最も少なかったのは卸売業であった。前述の経営上の問題点に関する設問でも、建設業では慢性的な人手不足を課題に挙げる事業所が多く、一方で卸売業は全業種の中で唯一人手不足を上位に挙げていない。

製造業は実施した事業所と実施していない事業所が半々となっており、小売業、サービス業は若干「実施していない」が「実施した」を上回る結果となった。

採用活動の結果に関する設問については、「採用できなかった」と回答した企業が54%と過半数にのぼり、計画通り採用できたと回答した企業は20%にも満たない結果となった。採用活動を実施しても採用できないケースが多く、採用にかかるコストを懸念する声も上がっていた。



企業の採用における課題（上図）の結果を見ると、「応募が少ない、応募自体がない」と回答した事業所が最も多く、次いで「応募はあるが、適した人材が見つからない」、「採用してもすぐにやめてしまう」が挙げられた。個人事業等では、「採用自体が必要ない（人材は足りている）」と「課題は特にない」と回答した事業所もあった。

また、業種別にみると、「応募はあるが、適した人材が見つからない」と回答した業種は小売業が最も多く、次いで卸売業と製造業が多い結果となった。

質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・建設業の業績はやはり人口増を考えていかなくてはならず、各施策を一緒に考えていきたい。
- ・借入金の返済の負担が大きい。

【製造業】

- ・物価高騰における消費節約。
- ・建築不況の状況です。
- ・繁忙期における売上の低迷。
- ・誘致企業に税金を使った補助金を使用しているのが目立つが、誘致企業は業績が悪いと撤退する。また、補助金を多額に出しているが、採用する人員数が少なく、税金の無駄使いと感じる。元々、地場で頑張って税金を納め続け、雇用を維持している企業を応援して欲しい。
- ・円安の影響がかなりある。機械、材料、燃料費等軒並み値上がりしている。

【卸売業】

- ・若年層の人材が倉吉を離れています。従前の施策が効果的でないものと思われます。

【小売業】

- ・事業承継の件で悩んでいます。
- ・人口減少により市場が縮小。地方の脆弱さを感じる。

【サービス業】

- ・人口減をどうにかしないといずれほとんどの中小企業はなくなると思う。倒産ではなく廃業。人は都市部に流れるが、大手の地方進出に期待するしかない。
- ・今年のGWは売上は伸びましたが、その後農繁期に落ち込みがひどく、売上を下げました。物価高で飲食人口が落ちているようです。

D I 集 計(前年同期比＝2023年4～6月期、来期の見通し＝2024年7～9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.6	-11.1	28.5	17.5	-15.5	-8.7
製造業	-27.8	-27.8	27.8	17.6	-27.8	-5.9
非製造業	-4.7	-6.3	28.7	17.5	-12.1	-9.6

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-3.6	-6.4	1.2	-2.4	-1.3	6.3
製造業	-11.1	0.0	0.0	-5.6	-11.1	11.1
非製造業	-1.5	-8.1	1.6	-1.7	1.6	4.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-11.9	-3.7
製造業	-22.2	0.0
非製造業	-9.1	-4.7

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.6	-11.1	28.5	17.5	-15.5	-8.7
建設業	-20.0	5.3	25.0	26.3	-25.0	-5.3
製造業	-27.8	-27.8	27.8	17.6	-27.8	-5.9
卸売業	-22.2	-22.2	44.4	33.3	-33.3	0.0
小売業	0.0	-7.7	14.3	7.7	0.0	-15.4
サービス業	22.2	-11.1	42.1	16.6	10.6	-11.1
その他	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0
非製造業	-4.7	-6.3	28.7	17.5	-12.1	-9.6

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-3.6	-6.4	1.2	-2.4	-1.3	6.3
建設業	-10.0	-5.3	5.0	5.3	15.0	-10.5
製造業	-11.1	0.0	0.0	-5.6	-11.1	11.1
卸売業	0.0	-11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	-8.3	-7.7	-8.4	0.0	23.1
サービス業	5.3	-11.1	5.2	-5.2	-5.5	17.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0
非製造業	-1.5	-8.1	1.6	-1.7	1.6	4.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-11.9	-3.7
建設業	-15.0	0.0
製造業	-22.2	0.0
卸売業	-22.2	11.1
小売業	0.0	-7.7
サービス業	5.3	-11.1
その他	-50.0	-25.0
非製造業	-9.1	-4.7

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。
DI＝(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: (お手数ですがご記入をお願いします。)

秘

倉吉商工会議所企業景況調査票(2024 年 4～6 月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問 1】前年同期と比較した今期(2024 年 4～6 月)の状況と、今期と比較した来期(2024 年 7～9 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- 0 1 競争激化

0 2 消費・需要の停滞

0 3 売上・受注減少

0 4 売上・受注単価低下

0 5 原材料・仕入価格上昇

0 6 原材料・在庫不足

0 7 原材料・在庫過剰

0 8 店舗・生産設備不足・老朽化

0 9 店舗・生産設備過剰
- 1 0 経費の増加

1 1 人手不足

1 2 人手過剰

1 3 利益率低下

1 4 代金回収難

1 5 資金繰り難

1 6 新分野進出

1 7 その他：具体的に

()

回答欄

1 位

2 位

3 位

【質問 3】人手不足が深刻化しており、採用活動を行う企業も増えています。これに関連して以下にご回答ください。

1. 貴社の令和年6年4月における採用活動の実施について

※採用の有無に拘わらず、採用活動自体を実施したか否かについてご回答ください。

① () 実施した / ② () 実施していない

2. 【1. で「①実施した」と回答した方】採用状況について

【採用人数】 ・新卒 (人) ・中途 (人)

① () 計画した人数通りに採用できた / ② () 採用できたが、計画した人数には満たなかった

③ () 採用できなかった

3. 【全員】貴社の採用における課題について(複数回答可)

① () 応募はあるが、適した人材が見つからない / ② () 応募が少ない、応募自体がない

③ () 内定を出しても辞退される / ④ () 採用してもすぐに辞めてしまう

⑤ () 採用活動に割く時間が十分にとれない / ⑥ () そもそも自社に採用は必要ない

⑦ () 課題は特にない / ⑧ () その他

()

【質問 4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。